

なばり市議会だより

no. 60

平成23年4月
発行■名張市議会

●議会広報特別委員会●三重県名張市鴻之台1-1●☎63-7834~5 FAX 64-8870 ✉gikai@city.nabari.mie.jp

平成23年度3月定例会

平成23年度当初予算など48議案を可決

3月定例会(第345回)は、3月2日開会、3月25日閉会の24日間の日程で行われた。

開会日には、市長の施政方針

教育委員会の教育行政方針が示された。提出された議案は、平成23年度一般会計・特別会計・企業会計の当初予算10件・平成22年度一般会計・特別会計・企業会計の補正予算12件、「名張市暴力団排除条例の制定」「名張市選挙資金条例」などの条例制定5件、委員会の委員等の報酬及び費用弁償に関する条例「名張市農業集落排水処理施設の設置及び管理に関する条例」などの条例改正6件、「希中央公益施設用地」の財産取得1件、指定管理者の指定2件、変更契約1件、市道認定等4件、規約変更1件、人事案件4件の全46件である。



赤目小学校卒業式

議員提出議案は、若者の雇用対策の更なる充実、公共交通機関のバリアフリー化の更なる推進を求める意見書2件である。

これらの議案は、本会議・予算特別委員会・常任委員会で慎重に審議し、全48議案を可決した。

一般質問は3日間行われ、9議員が登壇し、市政全般にわたり質疑した。今議会は「希中央公益施設用地」の財産取得議案が提出されたことに伴い、市有地の活用方法・財政の見直し・中心市街地の活性化・市民との協働によるまちづくりについて多くの質問がなされ、市の考えをただした。

平成23年度当初予算

一般会計

危機管理・支援体制に買集集中
247億4,200万円を計上

会期中に未曾有の自然災害となった「東日本大震災」が発生したことにより、危機管理体制にかかわる質疑と、支援に関する意見が多く述べられた。また、不安定な国政を反映し、主要政策であるが未確定となっている子ども手当など、市の予算に直結する質疑もなされた。

一般会計当初予算は、前年度当初予算と比較して6.0%増の247億4,200万円となっている。しかし、昨年度当初予算が骨格予算であったことや、多くの継続事業経費を考慮すると、引き続

きの緊縮予算となっている。

主な事業は、ソフト事業では、ゆめづくり地域交付金・在宅医療支援費・感染症予防費・子ども手当給付費などである。ハード事業では、地域密着型サービス整備・発達支援センター整備・農業集落排水施設整備などである。

特別会計

7特別会計、総額156億2,700万円を計上。

農業集落排水事業

赤目南部地区・比奈知地区の事業推進費、各施設管理費および公債費など6億3,550万円。

公共下水道事業

処理施設増設工事、処理場・戸別浄化槽管理費など15億2,810万円。

介護保険

地域密着型介護サービス給付費など49億2,200万円。

企業会計

〔病院事業会計〕
収益的収入は43億8,691万円で、収益的支出は48億2,393万円であり、4億3,702万円の赤字計上である。

資本的収支は、不足する額が2億7,316万円であり、損益勘定留保資金・一時借入金で措置する。

水道事業会計

収益的収入は、15億3,400万円で、収益的支出は16億4,522万円であり、1億1,122万円の赤字計上である。

資本的収支は、不足する額が8億1,986万円であり、損益勘定留保資金などで補てんする。

平成22年度補正予算

一般会計補正予算は、6億8,850万円の増額補正で、補正後の予算は、277億1,990万円となった。

歳出の主なものは、病院事業会計への繰入金4億5,000万円、企業吸収合併の一時売却益による交付税減額に対応するための基金積立6億3,000万円などの増額、事業・工事完了による精査および人件費精査の減額などである。

歳入の主なものは、企業吸収合併の一時売却益などによる法人市民税6億8,900万円、国庫支出金2億8,350万円、繰入金1億8,450万円の増額などである。

特別会計補正予算は、農業集落排水事業を除く全特別会計で合計3億4,095万円の減額補正、全特別会計の補正後の予算額は156億8,332万円となった。主に工事費・人件費および給付費

お見舞い

この度の東日本大震災で被災された皆様へ、心よりお見舞い申し上げます。

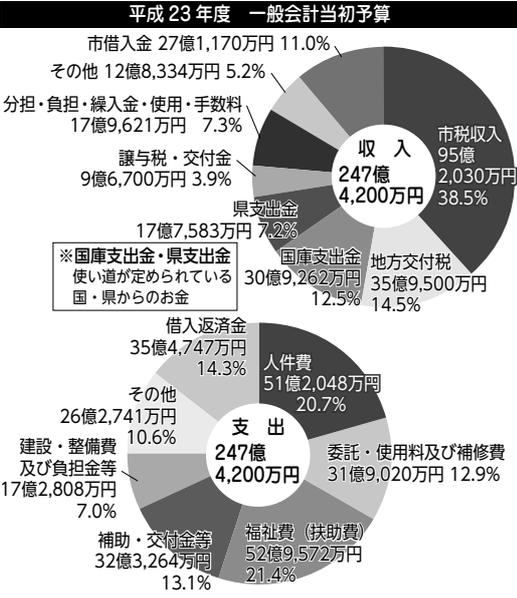
また、震災で亡くなられた方のご冥福をお祈りするとともに、ご遺族の方へ、謹んでお悔やみ申し上げます。

被災された皆様におかれましては、未だなお厳しい状況が続くかと存じますが、わたくしども市議会といたしましても、災害の復興・支援に微力ながらお力添えしていく所存であります。

一日も早い復興を心からお祈り申し上げます。

名張市議会 議長 柳生大輔

などの精査である。農業集落排水事業では、繰越明許費の限度額を6,000万円に変更している。企業会計における補正予算は、主に事業費精査によるものである。



一般質問

質問は議員から提出された原文を尊重し、編集して掲載しています。

公明党 石井 政

地域経済の活性化

Q 地域経済の活性化なくして市の発展はない。若者の流出を防ぐために、企業誘致、雇用対策を求めてきた。現在、ノ

ーベル製菓ほかから社の事業開始に向けた整備が進んでいる。商業振興条例を制定した目的は、市が商店会や経済関係団体の組織強化を支援し、商業の健全な発展を図ることだ。名張ブランドの育成や魅力ある商品づくりを意欲的に取り組めるよう「のづくり推進条例」を制定すべきだ。

A 商業者組織の弱体化で地域貢献活動の衰退が懸念される。現在、異業種による「ものづくり研究会」がある。地域の産業者が横の連携を図り「特色あるものづくり」ができるよう支援して行く。「ものづくり推進条例」は検討する。

空き家の雑草対策

Q 空き地の雑草除去に関する条例に基づき、行政代執行

に至った件数と費用徴収の状況を問う。また、空き家の植栽や雑草が繁茂し近隣住民の生活環境に悪影響を及ぼしている。空き家が増え続ける背景には、高齢化や過疎化がある。一人暮らしが困難になり、子どものもとに移転したり、居住者が亡くなる場合が多いと聞く。市の対策を問う。

A 平成21年・22年で7件11区画の行政代執行を実施した。費用は全額徴収できている。空き家は市内で4170戸あり、住宅数に占める割合は12.7%だ。生活環境の保全・防犯のためにも今後は、空き家の適正管理に関する条例を制定する方向で検討する。



空き家の雑草対策

「清風クラブ」森岡 秀之

Q 平成24年に実施予定総合体育館の補修

幾度となく議会において、総合体育館の雨漏りや補修改善について質問がなされている。今回は、館内の送風ダクトからのホコリ対策について、早期解決を求める。

A 平成21年度、見直した名張市スポーツ振興計画に明記したとおりだ。振興計画では、改修を25年度以降としているが、可能な事業については実施予定。総合体育館については、耐震工事を22年11月に作成した「中期財政見通し」で、24年度に実施する計画をしている。その際、老朽化している施設の改修なども、できる限り同時に施工を検討したい。

A 平成21年度、見直した名張市スポーツ振興計画に明記したとおりだ。振興計画では、改修を25年度以降としているが、可能な事業については実施予定。総合体育館については、耐震工事を22年11月に作成した「中期財政見通し」で、24年度に実施する計画をしている。その際、老朽化している施設の改修なども、できる限り同時に施工を検討したい。



総合体育館

道路の早期整備を

Q 蔵持町里地内の都市計画直線化と、桔梗が丘駅から武道交流館いきいきまでの歩行者の安全対策が必要だ。

A 朝夕の通勤時には大変混雑するほか、通過交通量が多いため、付近の住民だけではなく、武道交流館いきいきの利用者にも危険な状態となっていることは承知している。平成22年の9月議会で意見をいただいたので、早速、三重県と本線整備を視野に入れた今後の対応について協議を

行っており、早い段階で整備方針を地元で説明する予定だ。

「希望クラブ」浦嶋 陽介

Q 詳細設計で検討する

平成23年度、5600万円が「ありませぬ」と返答された。文科省事業のスポーツ振興くじ補助金が、改修費用の3分の2対象となりうると調査で判明した。なぜ、見過ごしたのか。補助金を有効に活用し、今回の改修で、以前からの要望事項である幼児用プールの遊具設置を求める。市長、子育てが終わったら関係ないと言わないでほしい。

A 提案を頂き感謝する。財源確保のため、調査は各部署に何度も指示してきたが、今回の見逃しは非常に残念だ。二度と無いよう再度指示した。幼児用プールの遊具は詳細設計において実施検討する。

野球場がサッカー場

Q 市民野球場の照明設置は、野球を夜間に楽しむため昭和56年6月に、市民陸上競技場の芝生化は、子供たちが芝生に慣れるためや、サッカーの県大会以上の公式試合を行った平成13年3月に、それぞれ請願が採択されている。市民野球場では硬式球が利用可能であり、安全上、防球ネットが必要との声もある。いずれも民意である。請願に期限があるのか。請願と優先順位についての考えを問う。

A 請願は重く受け止めて計画を進めなければならない。期限切れはない。防球ネットも必要性は感じている。市民陸上競技場の芝生化・市民野球場の照明は、整備計画の中で検討する。防球ネットが優先ではない。

「日本共産党」三原 淳

Q 地域支えあいを支援

以前は団地内に商店があり日常生活ができたが、大型店舗の進出や、曇気の低迷が続く。地元商店は閉店を余儀なくされた。車がないと買い物や病院に行けず、高齢者は将来の生活に不安を抱えている。地域コミュニティバスの取組みも行われているが、後継者や財源が続くか心配である。ひとり暮らしの高齢者も多く、日ごろからのつながりと支援が必要である。

A 高齢者が地域で安心して暮らしていくためには、人と人とのつながりが何より大切だ。向こう三軒両隣の日常支援ネットワーク「地域あんしんねっと」を構築したい。移動手段の確保や、生活上の困りごとは、地域づくり組織や有償ボランティアへ財政面での支援をする。

家庭ごみ袋の価格

Q 市民に分別の協力を、家庭ごみ有料化の負担により、ごみの減量ははかられた。指定ごみ袋は、ごみの量がリバウンドしないよう高い価格に設定されている。分別が定着し減量が実現でき

たのであれば、指定ごみ袋の価格を下げよ。予定されている生ごみの分別回収は、資源ごみとして無料にせよ。

「希望クラブ」森岡 千代子

Q 亀井市政発足以来、市民の文化水準を向上させる施策は講じられなかったようだ。平成8年名張市文化振興審議会に3回目の諮問をしたが、審議会からの答申は尊重されないうまま今日に至っている。市民の美術作品などの展示の拠点となる場を設ける事が、子どもたちの情操教育にもつながる。歴史や伝統文化を後世に伝える施策も望む。そのために新たに公募による審議会を設置し諮問された。

A 公設の美術作品などの展示場所を望む声は、承知している。今後、市の既存施設の活用を検討していく。能舞台の充実や美旗古墳群などの出土品の展示施設も、これからの課題としたい。さらに、審議会を設置し諮問も考えてい。

A 家庭ごみ有料化や資源回収のごみ量は、大幅な減量となった。3年が経過し、リバウンド現象もなく順調に減量が持続している。こうした状況をふまえ、指定ごみ袋の価格見直しを検討し、市民の皆さんのご協力に応えたい。生ごみ専用袋を無料にすると、有料指定ごみが混入される懸念があり、無料化には課題がある。



公益施設用地

Q 希中央公益施設用地に「デイスカウトスペース」を誘致

答弁 キリキリの判断
「心風会」森脇 和徳
スーパー誘致の是非

A 「名張市子ども条例」の子ども版リーフレットの作成に取り掛かっている。平成23年度中にできる予定で学校を通じ配布し、児童館・公民館の各種研修会や行事のあり、商工観光室・名張商工会議所を通じ配布する。さらに子育て支援の立場から企業への働きかけなど、安心できる社会環境を目指す。

Q 三重県下第一号の「名張市子ども条例」が制定され、子どもさまざまな権利が保障されているが、この条例すら知らない市民が多い。子どもたちを取り巻く支援事業も、その利用件数がゼロに近く、こうした取組みを広く啓発してほしい。働く親が安心できるよう、企業との連携も密にした社会環境を望む。

答弁 広く周知徹底を図る。

A すると報告を受けたが、各方面から続々と反対の声が寄せられている。すでに当市においてはオーバーストア状態であり、既存事業者やまちづくりの観点からも問題視されているが、十分な説明がなされていない状況は問題だ。市長の考えを聞きたい。

A さまざまな意見を踏まえて議会最終日までには、議員ならびに要望団体の皆さんに報告を申し上げたい。いま、ギリギリの判断をしている。最終にして最後の責任は市長の私にある。

Q 教育センター構想は

答弁 実現に向けて努力

Q (仮称)名張市総合教育センターの実現に努力されたい。平成23年度中には構想の中心が具体化されるそうだが、桜ヶ丘にある旧市民会館には教育関連施設が現在3つ同居しており、老朽化も著しく耐震性にも問題がある。あの場所を教育センターとして新しく建て替えて図書館・平尾山カルチャーパークと一大教育拠点とするのが良いと考える。現時点での考えを聞きたい。

A 教育センター構想は23年度中に具体的な策定を行い、議会にもお示しする。立地場所として現在の桜ヶ丘・旧市民会館をという考えも貴重な意見として承っておく。

Q 公明党 富田 真由美
障がい福祉の拡充を

答弁 とぎれない支援へ

Q 市として、障がいのある人への支援取り組みをどうするのか。家族支援・特別支援学級の充実・後見人制度の拡充などが必要だ。医療・保健・福祉・教育など、関係機関との連携やネットワークが不可欠である。地域において実効性のある支援体制を構築すべきだ。

A 家族への支援は、大きな柱と考えている。療育に従事する医療を中心とし、準備検討を進めている。大学と協議しながら、子ども発達支援センターを開設する。名張市は、県下で唯一、通級教室の研究に取り組んでいる。早くから適切な指導、とぎれない支援充実を図っていく。

Q 「福ワクラブ」常後 朋子
輪番制の現状と今後

答弁 機能重点と輪番堅持

Q 上野総合市民病院が「がん免疫栄養療法センター」を開設する。伊賀3病院での2次救急輪番体制に与える影響と、救急車の受け入れ搬送状況を問う。

A 救急車の搬送状況は、1534件中、114件が受け入れ不能となっている。患者対応中・手術中・専門外・処置困難・ベッド満床が主な理由だ。少ない医療資源が最大の課題点である。医師の過重労働の解消・伊賀地域医療再生計画の見直し・特色を生かした診療機能の重点化が必要だ。医療の専門性向上と、医療従事者にとって魅力ある病院作りを目指す。2次救急医療体制の堅持を最重要課題と位置付けている。

Q 医療機関や職場、行政が連なるシステムを構築するべきだ。全国でうつ病患者は急増し、深刻な問題となっている。うつ病の治療は自殺防止へとつながる。相談体制、治療体制を市主導により強力に進めるべきだ。

A 名張市障害者相談センター「なびっと」で相談を受け付けている。講演会の実施と睡眠キヤンペーンなど、啓発もしている。心の健康づくりを始め、さまざまな対策に取り組み、「健康なばり21計画」を進めている。

Q 市でのうつ病対策を

答弁 積極的に取り組み

Q 医療機関や職場、行政が連なるシステムを構築するべきだ。全国でうつ病患者は急増し、深刻な問題となっている。うつ病の治療は自殺防止へとつながる。相談体制、治療体制を市主導により強力に進めるべきだ。

A 名張市障害者相談センター「なびっと」で相談を受け付けている。講演会の実施と睡眠キヤンペーンなど、啓発もしている。心の健康づくりを始め、さまざまな対策に取り組み、「健康なばり21計画」を進めている。

Q 5歳児健診の必要性

答弁 実施時期等を検討中

Q 名張市は、発達障害など特別な教育支援が必要な児童生徒が約800人おり、支援が急務である。発達に心配のある子どもが抱える課題を早期に発見し、早期療養につなげるには、就学前の5歳児健診が重要であり必要だ。

A 5歳児健診は、小学校にあがる前の重要な健診と位置付けられており、昨年度から名賀医師会などで検討されている。現在も5歳児健診は、関係機関と運用について協議を行っており、(仮称)名張市子ども発達支援センター整備検討会で実施時期などを早急に検討する。

Q 「みらい」幸松 孝太郎
5歳児健診の必要性

答弁 実施時期等を検討中

Q 名張市は、発達障害など特別な教育支援が必要な児童生徒が約800人おり、支援が急務である。発達に心配のある子どもが抱える課題を早期に発見し、早期療養につなげるには、就学前の5歳児健診が重要であり必要だ。

A 5歳児健診は、小学校にあがる前の重要な健診と位置付けられており、昨年度から名賀医師会などで検討されている。現在も5歳児健診は、関係機関と運用について協議を行っており、(仮称)名張市子ども発達支援センター整備検討会で実施時期などを早急に検討する。

Q 水道料金改定の時期

答弁 平成26年度を視野に

Q 平成22年、名張市水道ビジョンが策定された。この計画では、26年度に資本的収支が赤字となり欠損金が発生し、32年度時点で、繰越欠損金が20億円にまで増加するとある。このビジョンは、料金改定が前提になっているのか。

A 現行の水道料金は、21年度までは単年度収支が黒字のため、今後も現行料金で経営努力を続けていきたい。しかし、22年度以降は、収益的収支の赤字が想定され、以降も同様で、26年度には繰越欠損金が発生すると予想されている。今後は、損益分岐点を見極めながら料金改定も視野に入れていきたい。

Q 名張市は、発達障害など特別な教育支援が必要な児童生徒が約800人おり、支援が急務である。発達に心配のある子どもが抱える課題を早期に発見し、早期療養につなげるには、就学前の5歳児健診が重要であり必要だ。

A 5歳児健診は、小学校にあがる前の重要な健診と位置付けられており、昨年度から名賀医師会などで検討されている。現在も5歳児健診は、関係機関と運用について協議を行っており、(仮称)名張市子ども発達支援センター整備検討会で実施時期などを早急に検討する。

Q 名張市は、発達障害など特別な教育支援が必要な児童生徒が約800人おり、支援が急務である。発達に心配のある子どもが抱える課題を早期に発見し、早期療養につなげるには、就学前の5歳児健診が重要であり必要だ。

A 5歳児健診は、小学校にあがる前の重要な健診と位置付けられており、昨年度から名賀医師会などで検討されている。現在も5歳児健診は、関係機関と運用について協議を行っており、(仮称)名張市子ども発達支援センター整備検討会で実施時期などを早急に検討する。

Q 名張市は、発達障害など特別な教育支援が必要な児童生徒が約800人おり、支援が急務である。発達に心配のある子どもが抱える課題を早期に発見し、早期療養につなげるには、就学前の5歳児健診が重要であり必要だ。

A 5歳児健診は、小学校にあがる前の重要な健診と位置付けられており、昨年度から名賀医師会などで検討されている。現在も5歳児健診は、関係機関と運用について協議を行っており、(仮称)名張市子ども発達支援センター整備検討会で実施時期などを早急に検討する。

Q 一動要退職制度の廃止

田合 豪

答 普通債のうち総務債の半分は退職手当債で、平成22年度末で都市計画債に続き2番目。23年度末では、土木や教育・消防などのインフラなどを抜いて1位になる。中期財政見

Q 名張市の危機管理は

高田 稔嗣

答 平成22年末、錦生地域で固定電話が長時間通話できない事故があった。高齢者家庭では携帯電話利用が少ないと思う。電気、電話などの事故時における行政の伝達マニュアルは、地域に防災無線機が配置されているが、行政との通話は可能か調査する必要がある。地震、水害などの災害対応に対する訓練は必要だが想定震度はいくらか。

A NTTには事故の程度により行政への報告を要請する。再度防災無線の通信確認をする。想定震度は五弱である。

Q 名張市は、発達障害など特別な教育支援が必要な児童生徒が約800人おり、支援が急務である。発達に心配のある子どもが抱える課題を早期に発見し、早期療養につなげるには、就学前の5歳児健診が重要であり必要だ。

A 5歳児健診は、小学校にあがる前の重要な健診と位置付けられており、昨年度から名賀医師会などで検討されている。現在も5歳児健診は、関係機関と運用について協議を行っており、(仮称)名張市子ども発達支援センター整備検討会で実施時期などを早急に検討する。

Q 名張市は、発達障害など特別な教育支援が必要な児童生徒が約800人おり、支援が急務である。発達に心配のある子どもが抱える課題を早期に発見し、早期療養につなげるには、就学前の5歳児健診が重要であり必要だ。

A 5歳児健診は、小学校にあがる前の重要な健診と位置付けられており、昨年度から名賀医師会などで検討されている。現在も5歳児健診は、関係機関と運用について協議を行っており、(仮称)名張市子ども発達支援センター整備検討会で実施時期などを早急に検討する。

Q 普通債のうち総務債の半分は退職手当債で、平成22年度末で都市計画債に続き2番目。23年度末では、土木や教育・消防などのインフラなどを抜いて1位になる。中期財政見



防災無線・防災ラジオ

Q 名張市の危機管理は

高田 稔嗣

答 平成22年末、錦生地域で固定電話が長時間通話できない事故があった。高齢者家庭では携帯電話利用が少ないと思う。電気、電話などの事故時における行政の伝達マニュアルは、地域に防災無線機が配置されているが、行政との通話は可能か調査する必要がある。地震、水害などの災害対応に対する訓練は必要だが想定震度はいくらか。

A NTTには事故の程度により行政への報告を要請する。再度防災無線の通信確認をする。想定震度は五弱である。

Q 名張市の危機管理は

高田 稔嗣

答 平成22年末、錦生地域で固定電話が長時間通話できない事故があった。高齢者家庭では携帯電話利用が少ないと思う。電気、電話などの事故時における行政の伝達マニュアルは、地域に防災無線機が配置されているが、行政との通話は可能か調査する必要がある。地震、水害などの災害対応に対する訓練は必要だが想定震度はいくらか。

A NTTには事故の程度により行政への報告を要請する。再度防災無線の通信確認をする。想定震度は五弱である。

その他の質問

通しでみると、単年度で25年度8・6億円、26年度には7億円の起債を予定している。退職金を払うなどは言わないが、国の制度通りの勤奨退職の加算、2%から20%の加算をやめて、将来負担を減らせ。

A これまで通り勤奨退職の加算は行っていく。

細矢 一宏

「ふるさと農道開通は」

Q 整備中の「ふるさと農道」予算が、平成22年度補正予算で減額されている。事業が遅れているのか。「ふるさと農道」は、美旗地域・すずらん台地域の交通を円滑にするだけでなく、名張市にとり重要な道路であると考える。現状と開通見込みを問う。

A 22年度は、土地買収が原因で工事が遅れた。土地の買収にも見通しがつき、23年度以降は、工事は円滑に進むと考えている。道路の重要度は認識しており、早急な整備に努める。25年度までの開通を目指している。

山下 松一
「予算編成について」
Q 現国会で審議されている平成23年度予算について、「特別公債法案」など関連法案が成立しない場合、全国的にも重大な事態が想定される。名張市に影響するが、どのように考えているのか。

A 赤字国債発行の根拠となる「特別公債法案」が成立しなかった場合、92・4兆円の

国の予算のうち、44%の財源確保が困難となり、名張市においても予算執行に重大な影響を及ぼす。国の動向をしっかりと注視する。

福田 博行

「希中央公益施設用地」

Q 用地を公社より買い取つてスーパードに貸し付ける案件は、商工会議所をはじめ商業団体から反対の意見書が出され、市長は熟慮中とのことだ。本議案が否決され、買い取りができない場合、中期財政見通しに与える影響は。

A 公社健全化債で用地を買い取り、家賃で起債償還金をまかなう。一般会計の負担としないことは、見通しに織り込み済み。買い取りができない場合、大きな影響がある。平成27年度の黒字化は達成できない。

橋本 マサ子

「国保税の引き下げを」

Q 平成22年度の保険税収入が1億5千万円も減額補正された。加入者の所得減で、払いにくい実態の反映だ。国保会計には5億6千万円も基金があり、2億円取り崩せば一人1万円の引き下げが可能だ。一部負担金の減免と合わせて取り組むことを求める。

A 加入者の高齢者増と所得減が減収の原因だ。22年度の医療費が1億円も伸びており、一定の基金が必要だ。今後の医療費の動向を見極めること、一部負担金の減免は他市町と歩調を合わせる。

可決した議案

- 議案第1号 平成23年度名張市一般会計予算について
- 議案第2号 平成23年度名張市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算について
- 議案第3号 平成23年度名張市東山墓園造成事業特別会計予算について
- 議案第4号 平成23年度名張市農業集落排水事業特別会計予算について
- 議案第5号 平成23年度名張市公共下水道事業特別会計予算について
- 議案第6号 平成23年度名張市国民健康保険特別会計予算について
- 議案第7号 平成23年度名張市介護保険特別会計予算について
- 議案第8号 平成23年度名張市後期高齢者医療特別会計予算について
- 議案第9号 平成23年度名張市病院事業会計予算について
- 議案第10号 平成23年度名張市水道事業会計予算について
- 議案第11号 名張市住民生活に光をそそぐ基金の設置、管理及び処分に関する条例の制定について
- 議案第12号 名張市暴力団排除条例の制定について
- 議案第13号 名張市暴力団排除条例の制定に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について
- 議案第14号 名張市奨学金条例の制定について
- 議案第15号 委員会の委員等の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第16号 名張市社会教育指導員等の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第17号 名張市手数料徴収条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第18号 名張市廃棄物の適正処理及び環境美化に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第19号 名張市農業集落排水処理施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第20号 名張市営住宅の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第21号 名張市精神障害者小規模作業所の設置及び管理に関する条例を廃止する条例の制定について
- 議案第22号 財産の取得について
- 議案第23号 公の施設の指定管理者の指定について(名張市営住宅)

- 議案第24号 公の施設の指定管理者の指定について(名張市営美旗駅自転車駐車場)
- 議案第25号 市道路線の認定について
- 議案第26号 市道路線の認定について
- 議案第27号 市道路線の認定について
- 議案第28号 市道路線の変更について
- 議案第29号 名張市公共下水道中央浄化センター建設工事委託変更契約の締結について
- 議案第30号 伊賀市・名張市広域行政事務組合規約の変更に関する協議について
- 議案第31号 平成22年度名張市一般会計補正予算(第6号)について
- 議案第32号 平成22年度名張市住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算(第1号)について
- 議案第33号 平成22年度名張市東山墓園造成事業特別会計補正予算(第1号)について
- 議案第34号 平成22年度名張市農業集落排水事業特別会計補正予算(第3号)について
- 議案第35号 平成22年度名張市公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)について
- 議案第36号 平成22年度名張市国民健康保険特別会計補正予算(第4号)について
- 議案第37号 平成22年度名張市老人保健特別会計補正予算(第2号)について
- 議案第38号 平成22年度名張市介護保険特別会計補正予算(第3号)について
- 議案第39号 平成22年度名張市後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)について
- 議案第40号 平成22年度名張市病院事業会計補正予算(第2号)について
- 議案第41号 平成22年度名張市水道事業会計補正予算(第2号)について
- 議案第42号 平成22年度名張市一般会計補正予算(第7号)について
- 議案第43号 監査委員の選任につき同意を求めることについて
- 議案第44号 教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて
- 議案第45号 固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて
- 議案第46号 人権擁護委員の推薦について

- 議員提出議案第1号 若者の雇用対策の更なる充実を求める意見書の提出について
- 議員提出議案第2号 公共交通機関のバリアフリー化の更なる推進を求める意見書の提出について

表決が分かれた案件

議案番号	議員名	富田	常俊	森岡	豊岡	幸松	吉田	浦崎	森脇	細矢	三原	高田	田合	吉佳	石井	永岡	川合	福田	橋本	山下
議案第1号		○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○
議案第6号		○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○
議案第7号		○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○
議案第8号		○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○

議長 柳生大輔は採決に加わりません。 ○は賛成した議員、×は賛成しなかった議員

総務企画常任委員会視察報告

平成23年1月17日から19日までの3日間、3件について視察を行った。

○市民活動協働市場について(静岡市)

静岡市では、提案型市民活動の促進に関し視察した。市と市民活動団体が協働で行う事業において、相互に提案できる仕組みを作り、義務規定を含む条例も策定し推進を図っており、推進手法や課題解決方法は、政策提案をしていきたい。

○市立病院の統合による財政的効果などについて(静岡県掛川市)

掛川市では、全国初となる公立病院の統合について視察した。統合の発端は、医師不足と財政負担の増加であり、名張市と非常に似かよっていた。統合における問題点の克服方法や、統合後の財政見通しは、今後政策提言をしていきたい。

○健全な財政に関する条例について(岐阜県多治見市)

多治見市では「健全な財政に関する条例」について視察した。市長・市職員、議員それぞれに義務を課す考えと、リスク引当金によるリスク補償の考えは、基礎自治体としては革新的であった。



議会広報特別委員会視察報告

平成23年1月27日・28日の2日間、議会の発信・透明化にかかわるホームページ検索とインターネット動画配信について視察した。また、平成23年1月31日、公平公正で分かりやすい広報作成にかかわる研修を受けた。

○議会のインターネット配信について(長崎市)

長崎市では、議会の検索項目を細分化し、市民が必要とする議会情報を得やすくしていた。また、議会のテレビ放送とインターネット配信において、記録した動画の所有権を議会とすることにより、安価に行っており、参考とした。

○議会広報研修(三重県自治会館)

三重県自治会館における研修では、議会広報作成にあたり、文書校正や紙面構成、読者参加型紙面を主に学んだ。



インターネットで会議録を見ることができます

名張市議会、名張市議会事務局(市役所ホームページ内)のホームページからアクセスできます。☎ <http://www.city.nabari.lg.jp/gikai/>

おことわり

議員のお祝い金などの寄付行為につきましては、公職選挙法により禁止されています。皆さまのご理解をお願いします。

ご意見・ご要望をお待ちしています

議会広報特別委員会(議会事務局 ☎ 63・7835)

教育民生委員会視察報告

平成23年1月18日から20日までの3日間、住民の健康管理システムと、知的障害児の教育の在り方や就学前から小・中にいたる15年教育方針について視察研修を実施した。

○住民健康管理システム構築プロジェクトについて(福岡県糟屋郡久山町)

久山町は、九州大学医学部との協働により、住民の健康管理を、トータルで推進するシステムを構築している。生活習慣予防がシステムの根幹を成していた。名張市においても、市民の健康を促進するため、視察内容を参考に、提案をした。

○「社会福祉法人 しいのみ学園」教育方針について(福岡市)

しいのみ学園は昭和29年、知的障害を持った子どもたちのために、日本で初めて養護学校として創設された。集団療育を通して一人ひとりの能力・個性を引き出す10大教育原理を基本にして子どもの能力を発現することに心血を注いでいる。

○尾道市の15年教育について(広島県尾道市)

尾道市は、就学前教育の充実を図るため15年教育の方針を立てて取り組んでいる。学校選択制を導入していることも特徴のひとつだ。しいのみ学園での視察もふくめ、隔たりのない、個性を伸ばせる教育を名張市に求めたい。



産業建設常任委員会視察報告

平成23年1月24日から26日までの3日間、中心市街地活性化への取組と、農業経営基盤強化および下水道事業についての視察研修を行った。

○中心市街地活性化について(宮城県多賀城市)

多賀城市では、賑わいと活力に満ち、居住空間として住みよく利用しやすい中心市街地を目指して、駅を中心に市街地整備を行っている。さらに、中心市街地を舞台にして、まちの活性化を実践するNPOやまちづくり団体を支援している。

○中心市街地活性化について(宮城県石巻市)

石巻市では、漫画や食・健康・交流といったテーマに基づき、市の良さを凝縮した「中心市街地を楽しく回遊させるまちづくり」、多様な都市機能を集積し、高齢化社会に対応した「歩いて暮らせるコンパクトなまちづくり」を目指している。多賀城市の取組と合わせ、名張市に計画を進言したい。

○農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想について・北上川下流域関連公共下水道事業「第4次認可計画」について(宮城県東松島市)

東松島市では、宮城県の基本方針に基づき、農業経営基盤の強化を目的とした基本構想を策定し、施策を推進している。また、下水道事業は、市街地の動向との整合性や、汚水の排除・処理の効率化、雨水排除における放流河川の整備との整合性を踏った施設整備を推進している。国の動向を見極め、名張市の参考としたい。



このたびの震災につきまして心よりお見舞い申し上げます。

**わくわくどきどき
議会体験**



平成23年1月16日、名張市PTA連合会による「わくわくどきどき議会体験」が、名張市議会本会議場を使用し、初めて行われました。この催しは、子どもたちに議場の空気を直接肌で感じてもらい、議会の役割や仕組みを知ってもらう事が目的です。

参加した小中学生は、議長のあいさつ、議会事務局からの説明後、順番に登壇し、自校と自身の紹介をしました。その後、議員席・執行部席の自席に戻り、さまざまな議題について発言をしました。今回参加してくれた子どもたちの、緊張しながらもしっかりとした発言を目の当たりにし、頼もしく未来への希望を感じました。

6月

議会の日程(予定) ※日程を変更する場合があります。

6月13日(日) 開会	23日(日) 教育民生委員会
16日(水) 一般質問	24日(月) 産業建設委員会
17日(木) 一般質問	29日(日) 採決
20日(日) 一般質問	
21日(月) 補正予算	
22日(火) 総務企画委員会	

開会時間は午前10時からです。ぜひ、傍聴にお越しください。一般質問はケーブルテレビで放映されます。